

新型コロナウイルス集団感染に関するご報告 (近隣地域の皆様へ)

この度、本学総合課程1年生で、複数の新型コロナウイルス感染者が判明し集団感染となりました。生徒・保護者の皆様はもちろん、地域の方々にも多大なるご心配をおかけすることとなり、本学といたしましても誠に遺憾でございます。

8日(火)に感染生徒の保護者より第一報を受けてから、感染拡大防止に向けて必要な措置を講じることを最優先とし、翌9日(水)からは直ちに臨時休校措置をとりました。その後、保健所の指導を仰ぎながら事態の収束に向けて取り組んでまいりました。聞き取り調査による濃厚接触者判定やPCR簡易検査を幾度も繰り返しながら、保健所の方々の休日を返上しての懸命な対応のお陰で、14日(月)までには陽性者を14名に限定することができました。よって、14日(月)には専門業者による学内の消毒作業を終了し、翌15日(火)には学校保健安全法による一部学級閉鎖クラスを除き、学校を再開する運びとなりました。

最初の陽性者が確認されてから約2週間が経過致しましたが、その後は新たな新型コロナウイルス陽性者は確認されておりません。無事に健康観察期間を経過致しましたので、学級閉鎖も解除致します。

現在、日本国内でも感染者が急増しております。本校におきましては、今回の一件により感染予防策を再検証し、基本的な対策(マスク着用、手洗い、手指消毒、換気、身体的距離の確保、3密回避など)はもちろんのこと、これまで以上に徹底して取り組んでまいります。

この度、本校からの新型コロナウイルス集団感染発生の報道に対して、在校生・卒業生やそのご家族、地域の方々、取引業者、並びに学校関係者の皆様には、温かなお言葉や応援を頂戴し、教職員一同、皆様のお言葉を心の支えとさせていただきながら、コロナ感染収束に向け取り組むことができましたこと、心より感謝申し上げます。

なお、感染した生徒たち、そのご家族の治療にあたっていただいた病院及び医療従事者の皆様にも、衷心より感謝申し上げます。どうぞご自愛くださいませ。

また、これまでお願いしてまいりました通り、この度感染もしくは濃厚接触者となってしまった生徒とご家族に対する人権の尊重及び個人情報保護に、何卒深いご理解とご配慮を重ねてお願い申し上げます。

新型コロナウイルスに感染した全ての方々の一日も早い回復をお祈り致します。

東筑紫学園高等学校
照曜館中学校
校長 五十棲 錠二